



2011年8月号 82

江東区の職場・地域・議会などから
し・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

原水爆禁止世界大会 (2011・8・6)

核兵器のない平和で公正な世界を



残暑お見舞い申し上げます

ことう民報編集部

写真は、旧中川・ふれあい橋で毎年行われている東京大空襲犠牲者追悼の「灯笼流し」



原水爆禁止2011年世界大会長崎が7日、9日に開かれ、海外と全国から7800人(江東19名)が参加しました。またパン・ギムン国連事務総長からメッセージが寄せられました。

67回目を迎えた原水爆禁止世界大会。世界の核廃絶を求める運動は、福島原発事故による放射能汚染が、世界各国に大きな衝撃を与えたことも重なって特別の意義を持つことになり、大きく前進し発展することができました。

参加者はそれぞれに、核兵器禁止条約の交渉開始を求める「核兵器全面禁止のアピール」(国際署名(総数57万余名)を持ち寄っての参加です。この一年間は、昨年のNPT(核不拡散条約)再検討会議で全会一致で確認された「核兵器のない世界」へ具体

的行動へと発展させた年でした。一つは、国連総会で、マレーシアなどが提案した核兵器禁止の交渉の再開を求める決議への賛成が、史上最高の133カ国に達したこと。二つ目は、2020年までに核兵器廃絶を求めている平和市長会議への参加自治体が、一年間で大きく増え、151カ国、4892都市へと拡大したことです。

切にして二つの運動を進展させながら大きく連帯する原水爆禁止世界大会となりました。パン・ギムン国連事務総長からメッセージ「原水爆禁止世界大会に参加されたみなさんに、連帯を表明する機会をいただきうれしく思います。私はみなさんと同じく、核兵器のない世界の実現を希求しています」と述べ、最後に、「この大義の実現のために、みなさんをパートナーとしてともに活動できることを誇りに思う」

「核」はどんな形でも
いらぬ

江東民商事務局
高橋修太(27歳)

大会に参加して感じたのは、震災における原発問題の影響がとて大きいということでした。原発に関する問題意識が正直小さかった中でこのような悲惨な出来事が起きました。



放射能の影響は恐ろしい。知っているつもりでしたが、今回の大会で改めてその恐怖を再確認しました。日本に「核」はどんな形でもいらぬということ。それを仲間と共有できたのは自分にとって大きな経験となりました。



議 会 報 告

禍根のこす区長「英断」 オイルと党が同調

共産党以外のオール与党が豊洲への「築地市場移転を了承」

7月19日、区議会の清掃港湾・臨海部対策特別委員会

で共産党以外の自民党、公明党、みんなの党、民主党などのオール与党が、豊洲の東京ガス跡地への築地市場移転を「大枠で了承する」と決めてしまいました。

都の土壌汚染・地下水汚染対策では食の安全は守れない

共産党の斉藤信行委員と大つきかおり委員は、これまで繰り返し、土壌汚染や地下水汚染の調査が極めて不十分である。都の土壌汚染対策は、日本環境学会や市場関係者、都民から多くの問題点が指摘されている。東日本大地震で108カ所の液状化が起きていて、食の安全を守る上で、現在地での再整備が最適であることなどを主張してきました。

山崎区長とオール与党は、新市場の豊洲移転と地下鉄8号線の建設をリンクさせ、都に「8号線建設の取り組みが弱い」と主張してきまされた。7月15日、都の佐藤副知事が山崎区長を訪ねて「8号線建設に最大限の努力を傾注していく」と表明したことで、豊洲への受け入れを認めたものです。共産党区議団は、8号線建設は築地市場の移転に拘わらず江東区のまちづくり

から必要であり、都が事業主体となって進めるべきである。築地市場移転の取引条件ではない、独自の課題だと主張しました。食の安全から現在地での再整備を求める声を広げよう

福島原発事故の放射能汚染で、食の安全が大きな問題になっていきます。豊洲東京ガス跡地の土壌・地下水汚染、液状化現象など魚や野菜を安全に扱える場所ではありません。現在地での再整備を求める世論と運動を広げて行きましょう。



潮騒

66年目の終戦記念日。 大震災から5カ月余。 放射能汚染が広がる 被災地の惨状は、原 爆の爆心地や大空襲 の焼跡の記憶と重なるてきます

東京大空襲の語り部の方々が聞きました。悲惨な体験の後で子どもたちに「なぜ戦争を止められなかったの？」と質問されて一瞬絶句してしまつた、ということでした。当時は質問者より幼かった体験者の困惑は無理もないことです。その歴史的背景には、日本ではドイツと違ってアメリカ力単独占領下で戦争責任が明確に追及されなかつただけでなく、A級戦犯・岸信介が復活して政権をにぎりました。非核三原則でノーベル賞を受けた彼の実弟、佐藤栄作元首相は、アメリカとの核密約で日本を核戦争の基地にしました。この異常な政治の根源は脈々と継承されてきました。その一例、中学校の歴史と公民の教科書をめぐり、侵略戦争を「生存自衛」「アジア解放」と正当化し、改憲を主張する有朋社、自由社の教科書の採択を強要する自民党の策動です。この夏、区内では、平和委、健康友の会9条の会、守る会が、次々と沖縄、原発「私と戦争」など戦争体験を語り継ぐつどいを開催。9月4日には大島4丁自治会で大運動実行委の9条署名行動が提起されています。このような取り組みが広がって、国のあり方を根本から変える力になることが期待されます。

「江東デルタ地帯の形成」

概説

江東の歴史 (1)

古代の江東



大平堰 (亀戸・天祖神社)

江戸時代のはじめ頃は、利根川と荒川は千住・鐘ヶ淵あたりで合流して隅田川となり、いまの東京湾が内陸に深く入り込んでいた「葛飾湾」に注いでいました。この2つの川の河口に形成されたデルタ(三角州)地帯には、亀島、大島、宝六島(砂町)、永代島、越中島など、たくさんの島や浮州ができていました。

これらの島が埋め立てによって結ばれ、陸地になったのが、現在の江東区です。この葦が茂った低湿地だったこの地帯に、原始から中世に人々が定住した形跡は見当たりません。

江東区にある最古の金石文は深川2丁目の心行寺の五重石塔に刻まれています。1324年、鎌倉時代の末期のもので、

また、亀戸3丁目の普門院に1421年奉納の石灯籠・亀戸6丁目の自性院に1435年の年号が刻まれた宝篋印塔などがありますが、実は心行寺は1633年に中央区八丁堀から、普門院は1616年に荒川区、自性院も1662年に墨田区から、それぞれ移転してきたもので、初めから江東区にあったわけではありません。

江東区の歴史は、1590年に全国を統一した豊臣秀吉から関八州を与えられた徳川家康が江戸に入った近世から始まったのです。

近世というのは、それまでの中世と違って、今の日本にひきつがれている日本文化が花開く時期ですが、江東区の歴史も近世の開幕とともに、全く新しく、フロンティア精神のような逞しい意気と情熱をもって建設されていきます。

* 題字は細田隆善氏



沖縄・少・タイム

～戦争を語り継ぐつどい～



「座・お花畑」による構成詩の朗読

8月13・14日の2日間に行われた江東平和委員会は、「沖縄・少・タイム」を江東文化センター(視聴覚室)で開催しました。

江東平和委員会代表の木村直さんは、挨拶の中で「日本平和委員会は、戦後の平和運動のなかで一番に立ち上がった『平和運動の老舗』の組織です。原水禁運動、安保闘争、ベトナム反戦、沖縄返還闘争など一貫して平和委員会は重要な役割を担ってきました」と話しました。

1日目は、江東教師平和の会で活動してきた青木佳子さんが、第五福竜丸保存運動の生々しい歴史と、江東の平和運動の先進的な取り組みを話し、「座・お花畑」6人の皆さんによる構成詩「子ども核廃」が演じられました。最後には映画「ひめゆりの塔」が上映され、モノクロの映像に66年前の悲惨な戦争を改めて認識させられました。

2日目は、松原未知さんの「空を返せ」「日本が見える」「女」の詩の朗読に、普天間高校出身の中澤節子さんの三線の演奏が花を添えました。今年11月には、沖縄で「日本平和大会」が開かれます。



「ノーモア・ヒロシマ」「ノーモア・フクシマ」第57回 日本母親大会



大会に参加した江東代表のみなさん

7月30・31日に開催された第57回日本母親大会に参加した伊原静江さんの手記が寄せられました。

した2日間になりました。全大会の湯浅誠さんの講演「貧困なくし人間らしく生き

8月6日と同じように暑い広島市に、延べ15000人の母親・女性が集まり、江東区からは区職、教組、新婦人、民商、江退教などの代表23人が参加しました。政治の力が国民にきちんと届かないもどかしさを感じる毎日の暮らしのことや、東日本大震災、原発問題などを女性の視点で論議し、行動提起

新婦人江東支部・辰巳班、豊洲班は8月5日に福島県浪江町の方4人を迎えて歓迎の交流・食事をとおこないました。避難生活の中で「先の見えない事態が一番不安」と話されました。5カ月たってようやく日本赤十字からの義援金として冷蔵庫や洗濯機など家電品が届きましたが、もうすでに購入済みのももあり「困っている」という声もありました。

東雲公務員宿舎で避難生活をしている福島県・浪江町のみなさんと交流・食事を～新婦人江東支部～



帰ることができないため、その負担が重くのしかかります。「せめて義援金は現金でほしい」と訴えられました。盛りだくさんの手作り料理に「こんなに美味しく食事をしたのは避難してきてから始めてです」と感想を話していただきました。

行事日程

- 9月3日(土) 「うたごえ交流会」
- 9月4日(日) 「亀戸事件」 (*7月号に掲載)
- 9月3・4日(土・日) 「青年合宿」 佐野市 秋山学寮、江東青年後援会・ハピ鍋隊
- 9月4日(日) 「憲法9条守れ! 団地署名行動」 9時半(総合市民センター集合)
- 大島4丁目団地、江東大運動実行委員会
- 9月17日(土) 「地域労組こうとう第3回定期大会」 16時(森下文化センター) (第2研修室)
- 9月26日(月) 「消費税増税反対宣伝・署名行動」 17時半(豊洲ビバホーム前・江東各界連)
- 10月1日(土) 「江東区労連青年部第11回定期大会」 19時(江東文化センター) (第1研修室)